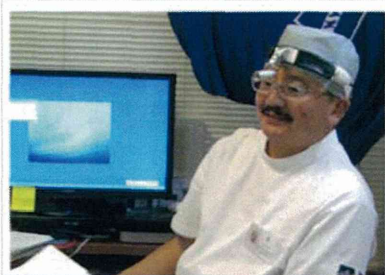


当院(耳鼻咽喉科)では、「CT、MR、画像診断」を有効活用しています。



・DOCTOR'S PROFILE・  
 H6年 久留米大学医学部卒  
 H16年 ハシモト耳鼻咽喉科医院院長に就任  
 H21年 よりあじさいネット会員  
 ■あじさいネット運営委員  
 ■長崎市医師会理事  
 ■長崎市医師会情報処理委員会 委員

「あじさいネット」は、かかりつけ医だからこそ活用できます。あじさいネットを利用して、情報提供病院での高性能な医療機器による、CT、MR、画像診断を見えています。それらを複合的に見ることで、診療に役立てています。

長崎市医師会が「あじさいネット」に入会した時から利用しています。長崎市医師会が、様々なシステムが混在する中で、新たに導入する医療連携ネットワークシステムとして「あじさいネット」を選定し、入会したのは平成二十一年のことです。あじさいネットに入会前の準備段階時、ちょうど私は長崎市医師会の理事に就任し、情報処理の担当でもありましたので「あじさいネット」導入のパイロット(水先案内人)にならねばと思いました。その当時、システムの選定、評価、医師会員への周知について担当の先生方と熱論を重ねたことを思い出します。

長崎市栄町 ハシモト耳鼻咽喉科医院 橋本 清 先生

TEL : 095-822-2906

また、利用してこういう使い方もあるなど思ったのは、私の知人のお父様が脳梗塞を起こして十善会病院に入院をした時、その知人は遠方なので状況が分からず困っていました。そのお父様は、当院の患者さんだったので、同意書を私がつけて、ここであじさいネットを見ながら、知人が電話で説明すると、安心してくれましたね。なかなか面識のない大きな病院の主治医に直接、電話はかけ難いですよね。その辺で私に聞きやすいというのがあったと思います。患者さんご家族が遠方にいらつしやる場合など、かかりつけ医としては、こういうサポートの仕方もあるのだと思いました。

在宅医療でも「あじさいネット」を長崎市には「在宅ドクターネット」があつて、在宅医療のネットワークが整備されています。私は耳鼻科ですので在宅主治医になることはありませんが、協力医として主治医の先生方から耳鼻科のご相談があった時に在宅医療の現場に向かいます。将来、在宅医療の現場であじさいネットを有効に利用できたらと思います。それが一部動き出していますが、今は在宅医療の現場を訪問した際、患者さんご自宅のベッドサイドで記事を書き込む事はできず、一回ステーションに帰ってきて書き込まなくてはなりません。在宅医療の現場で直接記事を書き込めて、情報共有するというのが、あじさいネットで実現できればと思います。具体的には現場で記事を書き込み、それがサーバーに残っていく、それを在宅医療

橋本 清 先生にお聞きしました！  
 ・・座右の銘・・  
 人生めりはり(減り張り)だと思っています。がつつと仕事して、オフはだらっとゆるむ。あまりにも忙しいので、私が家族と晩飯を食べるのは週に一回くらいです。だから日曜日とか休みの日とかは子供たちと釣りとかに行くようにしています。  
 Q. 「おくんち」は、どちらにはいるんですか？  
 A. 両方ですね。演技を観ているときは「張り」かもしれないですね。  
 \*先生は棒扁町の『コッコデショ』のチームドクターもされています！  
 ・・趣味・・  
 サッカー観戦ですね。V・ファーレン長崎です！  
 Q. どれくらい好きなのですか？  
 A. 看板出ずくらい。後援会にも入っています。それからデジタルカメラとルアー釣りも楽しんでいます。

●今後「あじさいネット」に期待すること  
 現在、長崎市の南部から駅前を通って北部に行くまでの道筋しかネットワークになっていないですね。田上地区とか東長崎地区とか全然ないでしょう。当院は東長崎地域の患者さんも多いですから、例えば、千綿病院とか諫早市と長崎市の中間にあるような西諫早病院といった病院が情報提供してくださるようになると思います。今後、徐々にネットワークが網羅していくことを望んでいます。

に問わる多職種間で閲覧し、その後の治療に生かしていく、この「多」職種は「多」でもあり「他」でもあるのですが、医師、薬剤師、訪問看護師、薬局といった在宅医療に携わる色々な人が情報共有できるようにしなければいけません。所見を見ながら書き込んで、iPadで写真に撮って、写真を貼りつけたりできると、処置の即時性が違いますからね。

「あじさいネット」の有効利用が、薬局薬剤師のレベルアップに！



養輪 博徳 先生 PROFILE

S48年 福岡大学薬学部卒  
S62年 開局  
H21年よりあじさいネット会員  
■大村東彼薬剤師会会長

大村市久原  
久原薬局

み の わ ひろのり  
養輪 博徳 先生

TEL : 0957-52-6428 e-mail : hmino@poem.ocn.ne.jp

大村東彼薬剤師会では平成二十一年5薬局で試験運用を開始しました。

平成十九年、大村市医師会の先生方から、大村東彼薬剤師会も今後あじさいネットを利用して、服薬指導に役立てていってはどうかとご助言を頂きました。そこで、当時の大村東彼薬剤師会の諏訪会長と話し合い、まずは5薬局で試験的に運用を開始することになりました。

役立った事例のご紹介

主治医の先生とコミュニケーション不足だと相談された患者さんが数人おられました。あじさいネットを利用すると、情報を通して主治医の先生の治療方針が大よそでは有りませんが感じ取ることができるので、そういった際には、あじさいネットに同意して頂き、検査結果なども見ながら、患者さんが気になっている事について、分かりやすく説明を行う事が出来ました。

また、メールを活用することができるとも、あじさいネットの大きな強みだと感じています。患者さんが主治医の先生に伝えて欲しいことを、私から主治医の先生にメールで問い合わせた事もしばしばありました。

薬局の存在意義を高める「あじさいネット」

私は、あじさいネットを有効利用すること、これまでの町の薬局での薬剤管理指導や処方監査が根底から変わり、薬局薬剤師の質を高めると共に、患者さんや主治医の先生から信頼を得て、薬局の存在意義を高め、生き残ることにつながると考えています。

大村東彼薬剤師会としては、あじさいネットを積極的に広めていきたいと考えています。私も大村東彼薬剤師会管内は、基幹病院が全て情報提供病院になっておりますのでより多くの薬局参加を推進していますが、残念ながら、参加率は一割にとどまっています。その原因は、コストの問題が大きいため、今後、費用対効果をより明確に提示していくことを検討しています。

あじさいネットに期待すること

当薬剤師会では、「日本薬剤師会学術大会」や、「九州山口薬学大会」であじさいネットについて発表してまいりました。その際に多く受けた質問は「病院や診療所のカルテは見せてもらえるのか？」「薬局間の情報共有はできないのか？」といった事でした。現状ではセキュリティの問題や、医師、薬

剤師の先生方の考え方の相違、資金の問題等、乗り越えるべき問題が多々あります。今後、あじさいネットが更に普及していき、これらの諸問題が少しずつ解決して、利用の幅が更に広がっていければと思います。

あじさいネットに思うこと

私の薬局では、以前は薬剤師が私一人だったため、あじさいネットの参加同意の説明になかなか時間が取れず、登録できた患者さんは少ない状況にありました。現在は、薬剤師が数名おられますので、これからは、もっと患者さんと向き合って「あじさいネット」を利用することへのメリットをじっくり話していきたいと考えています。

また、患者さんになかなか同意してもらえない場合があります。私の技量にもよるのですが、私の薬局で同意して頂いた患者さん方の多くが、「主治医の先生にあじさいネットの話を聞きました。」と言われ、既にあじさいネットをご存知でした。主治医の先生方には、忙しいところ恐縮ですが、患者さんに「あじさいネットは薬局でも利用できますよ。」と一言伝えて頂ければ幸いです。

■モットー

「患者さんの気持ちになって、お話をしよう」  
患者さんが、どういうことを尋ねたいのか、今どういう状況にあるのか、患者さんの気持ちや立場をよく考えながら、お薬の説明をする事がモットーです。  
ずっと一人で薬剤師をしていたものですから、新しい患者さんは別にして、昔から来られる患者さんは性格とか家族状況など全部存じ上げていますから、その人にあつたお話をしています。

■大村東彼薬剤師会のHPは、リニューアルして、一段と見やすくなりました！

## 情報提供病院のご紹介

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部  
済生会長崎病院 地域連携推進室

済生会長崎病院は平成 22 年 5 月に情報提供をスタートしました。

「当院とかかりつけ医」、互いの得意分野を生かし、患者様にとって「何が最良か」を常に追求します。

### ◆◆ Message / 野川 辰彦 院長 ◆◆



#### DOCTOR'S PROFILE

S48 年 長崎大学医学部卒  
専門：外科  
H22 年より現職

**逆紹介率 100% を目指して**

当院は地域医療支援病院ですので、その役割としてかかりつけ医の紹介は断然なっています。そして積極的な逆紹介の推進を行っています。特に、今からは「地域医療完結型の時代」ですから、逆紹介を積極的に進めて逆紹介率 100% を目指しています。合同会議といった場でも関連したデータを示し啓蒙に努めたり、患者さんが移動する際には必ず自己の診療歴を持って移動して頂くようにしています。これらの取組みにより、徐々にですが逆紹介数は増加しています。

**お互いの長所を生かした  
共同診療を提供したい**

当院では入院に出来る限り特化して、入院での検査、治療を重点的に行い、安定した患者さんや慢性的な病気などは、かかりつけ医にお預けし、定期的にかかりつけ医から当院に紹介して頂き詳しい検査や必要に応じて入院を行うようにしています。

例えば糖尿病の場合、6ヶ月毎にかかりつけ医から当院に紹介して頂き、血糖値等の推移を診ます。糖尿病の患者さんは糖の発生率が高いですから、必要に応じて内視鏡検査を行い、正しく評価し、場合によっては入院をスムーズに行う態勢を整えています。定期検査後は、糖尿病についての教育をして、またかかりつけ医にお返しするようになっています。こういった取組みは、心筋梗塞などでも予定しています。

**あじさいネットでカルテを共有**

一般にカルテは一元管理が良いといわれています。以前は診療科毎だったカルテが、現在では病院全体で一冊になりました。急にはなかなか難しいですが、将来的にはあじさいネットでカルテを一冊作って地域で共有できたらと思います。患者さんがどの病院を受診しても、その一冊のカルテに症状や治療内容等を継続的に付記していくのです。そういったことができれば他院にかかった記録も全部残りますから、より安全で良質な医療が提供できます。特に薬の処方や慢性疾患の把握に有効だと思います。どういう病気を持っているのかを、外来診察で充分聞き出すことができないう場合も多いので、地域でカルテが1冊なら正確に把握することができますし、また別の病気ができた時も見逃しがないですね。

Q. 病病連携についてどうお考えでしょうか？

ケースによっては非常に重症なため、大学に紹介することもありますが、有効だと思います。あじさいネットを通してどういう治療がされているのかを見ることによって、こちらの勉強にもなると思います。

● 地域連携推進室より

《診療所の先生方へ》

当院の前院長からの方針で、救急の際には同意書の代理取得を行っています。救急で来られた際に、患者さんからかかりつけの先生にも連絡をしてほしいという要望があった場合や、かかりつけの先生から依頼がある場合は、当院であじさいネットの説明と同意書の取得を行っています。その際は、かかりつけの先生のサインを頂くため、当院から原本を送り、返送して頂くようになりますので、少々お時間がかかります点をご了承下さい。

《改善してほしい点》

あじさいネットの操作説明書があれば助かります。登録の際にアクセス権設定と患者登録時に医療機関を選ぶところがありますが、選ぶのが多数あるので、ソートしやすいようにと、画像の取り込みに時間がかかりますので、もう少し早くなればなと思います。

院長は、学生時代から写真が趣味で、今回表紙の写真をご提供頂きました。



野川院長と地域連携推進室スタッフの方々

あじさいネットの登録作業は、スタッフ全員対応できるようにしています。不具合が生じた時は、メーリングリストで会員の皆さまにお知らせすると共に、情報管理室と連絡を取り合い、大体内で解決しています。

## 情報提供病院のご紹介

社会医療法人 春回会

## 井上病院 診療支援・地域連携室

井上病院は、平成 22 年 5 月に情報提供をスタートしました。

「こまわりがきく、高齢者にも対応できる急性期病院」を病院目標に掲げています。

### ◆◆ Message / 泉野 清宏 病院長代行 ◆◆



#### DOCTOR'S PROFILE

S62 年 長崎大学医学部卒  
専門：内科、糖尿病代謝  
H24 年より現職

長崎市内で最初に「開放型病床」と「地域連携室」を開設  
当院は一層質の高い地域医療を提供することを目的として、平成十二年、長崎市内では、最初に開放型病床と地域連携室を開設しました。  
急性期医療では、病床の開放だけでなく、消化器検査やCT、MRI、手術など病院施設を有効に共同利用して頂くことができます。また高齢者医療や慢性疾患に対しては、病診連携体制を整えておりますので、より地域で患者を支える医療の提供を行いやすくしています。  
病院の開放と医療連携の実践により、地域の患者さんが安心して医療の提供を目標に、連携室を運営しています。  
連携室を立ち上げ、時を経るにつれ、当院としての課題がみえてきました。当初はオープンシステムによる病床や病院施設の利用を連携室の主な機能とする、いわゆる「前方連携」でしたが、慢性疾患や高齢者医療が増加した社会では「後方連携」が重要になっていきます。

患者さんを地域で診るという立場から、「後方連携」では、当院で行うべき医療が一段落したら、キチンとした情報提供を行いながら地域に密着した医療機関に継続治療をお願いします。そこで、病床や病院施設のオープン化と共に、「医療の前方・後方連携」を充実させるべく、この九月より新たな連携室に移設致しました。  
連携室は専属の看護師長のもと、ソーシャルワーカー4名、退院支援や後方連携をスムーズにするための看護師1名、診療を支えるアシスタント1名、院内事務1名、後方連携のための事務1名で運用しています。  
患者さんの切れ目ない治療のために、「あじさいネット」を使いスムーズな連携を  
患者さん、医療側双方にとつての良い医療とは、患者さんはまず近くの開業医に受診する、そして必要があれば、専門医あるいは病院を紹介して診てもらい、病院の医療が一段落したら再び開業医のもとでケアを続ける。こうした病診連携がもっとも良いと考えられます。そのためには、患者さんの送迎を十分行つて、隙間のないスムーズな連携が欠かせません。その一つの手段として、あじさいネットは大変有用だと考えます。紙や口頭による診療情報よりも病院での経過や結果が分かりやすいため、後方連携と、その後の継続した治療がしやすいと考えられるからです。  
あじさいネットが多くの診療科の先生方に普及し、また施設などでも利用されるようになると、ブレない治療方針の下で患者さんが安心して療養できると思います。今後のあじさいネットの発展に期待しています。



泉野病院長代行と診療支援・地域連携室スタッフの方々

ご紹介頂いた患者様の情報は、退院日、もしくは翌日までに、担当よりクリニックへ直接お届けし、お顔が見える「face to face」の関係作りを大切にしています。

●診療支援・地域連携室より  
地域の医療機関の先生方と当院をつなぐパイプ役として入院・外来・検査の予約等受け入れ経路を一本化し、円滑でより連携の取りやすい体制を目指しています。  
《診療所の先生方へ》  
患者様の自署が読みにくい同意書が時折あります。そういった際に、欄外にでもフリガナを書いて頂ければ入力の際に助かります。  
《障害発生時の対応》  
システム担当から業者の方に連絡し、その時点で解決できない場合、富士通にご対応頂いていますが、時間が多少かかることがありますので、より早急な対応をして頂ければ助かります。  
《その他》  
登録した内容が、登録完了のファックス用紙に反映する機能があれば便利です。  
先生方から画像を取り寄せてほしいという問合せがありますので、病診連携が実現して病院間で画像が見れるようになればと思います。

平成 24 年 11 月 26 日 (月)  
あじさいニュース ～第 5 回「あじさいネット」記者会見～

佐世保市の運用開始により、あじさいネットはほぼ長崎県全域に拡がりました。  
これに伴い、11 月 26 日(月)18 時半より大村市医師会館にて発表記者会見が行われました。



記者会見の様相 会場：大村市医師会館 1 階 講堂にて

記者会見にご出席頂いた方

写真右より、

- 長崎労災病院 院長 横山 博明氏
- 佐世保共済病院 院長 木寺 義郎氏
- 佐世保中央病院 院長 植木 幸孝氏
- 佐世保市立総合病院 院長 江口 勝美氏
- 佐世保市医師会 副会長 横山 一章氏
- 長崎県 福祉保健部 部長 濱本 磨毅徳(代理)福祉保健部 次長 藤田 純次氏
- NPO 法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 会長 小尾 重厚氏
- 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療情報学 准教授 松本 武浩氏
- 市立大村市民病院 医療情報企画部長 麻酔科 医長 柴田 真吾氏/司会・進行



記者会見の様相は、各テレビ局のニュースで放映された他、大手医療情報サイト、「m3.com」のニュース・医療維新のコーナーにも大きく取り上げられました。

《佐世保地域代表》佐世保市医師会 副会長 横山 一章

米満理事が中心となって医師会としての加入を検討してきました。準備委員会を立ち上げ、説明会を開催し、会員に周知を図ってきました。その結果、あじさいネットに興味を示す会員の方が多数いらっしゃることが分かりましたので、佐世保市医師会としてあじさいネットに参加することにいたしました。

10 月 1 日より、佐世保市立総合病院と佐世保中央病院が本格的に運用を開始、現在のところ順調に運用しています。

《佐世保地区情報提供病院代表》佐世保市立総合病院 院長 江口 勝美

今回、佐世保市医師会を始め、多くの方々の努力によって、佐世保及び県北にもあじさいネットが導入されました。佐世保市立総合病院と佐世保中央病院は今年の 7 月から、佐世保共済病院は 11 月から運用を開始しました。長崎労災病院は年度内には開始予定です。現在のところ順調な運用ができております。また、病院と薬局の連携も少しずつではありますが増えてきております。今後、私どもとしましても、対馬などの離島とあじさいネットを介した病診連携をやっていければと、非常に期待をしております。

長崎県福祉保健部 次長 藤田 純次

県としては、あじさいネットは地域医療の質向上に極めて有効なツールと考えており、大村、長崎地区での拡がりを更に県下全域に拡大していきたいとの思いから、地域医療再生基金を活用いたしまして、佐世保の 4 基幹病院に対し、情報提供病院としての環境整備にかかる助成を実施したところでございます。尚、地域の拡大とともに機能の拡充についても、地域医療再生基金により支援を実施しております。今後、テレビ会議、周産期システム、在宅医療支援システム、遠隔画像診断システムといった新機能が新たに追加される予定となっております。今後も、県民が安心して暮らしていくための医療体制構築に寄与するような充実したネットワークに発展していくものと期待をいたしております。

(内容から一部抜粋)

記者会見後、理事会、平成 24 年度通常総会が開催されました。

通常総会では、運用報告、次年度の事業計画、役員改選等についての協議が行われました。

8

賛助会員 



# HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



Empowered by Innovation **NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を、 [www.nec.co.jp](http://www.nec.co.jp) 

お問い合わせ先: NEC(医療ソリューション事業部)へ  
〒108-0001 東京都港区芝本町7-1(NEC本社ビル) TEL: 03(3704)6756


<http://www.nec.co.jp/>

人と地球にやさしい情報社会へ

## Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤として  
ヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災に20被災された皆様に対し改めてお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査 (生化学的検査・血液学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査等の検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化粧品の新薬試験、薬効薬理試験
- トリプル薬による薬効・薬性評価
- 遺伝子診断の提供
- 医薬品・食品・化粧品・食品添加物・化粧品等に  
おける安全性評価・薬理リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- トレーニング検査

▲ 三愛化学メディエンス株式会社  
〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
TEL:03(6722)4000(代表)

あじさいネットは、会員様をはじめ、様々な方々のご協力により、運営されています。

## あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会  
入会申込書を事務局宛に送っていただきます。  
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。  
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000円** を承ります。
  2. 利用料金  
月々 **4,000円** (レセプトオンライン請求も希望の場合は 5,000円) と年 **3,000円** のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。
  3. 機器の設置  
機器設置用ヒアリングシートに必要な事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。  
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。
  4. 運用講習会  
利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。
  5. 同意書と登録  
患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。
  6. あじさいネットポータルサイトへのログイン  
アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。
- \* 手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。

### 入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当：三浦  
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

## 編集後記

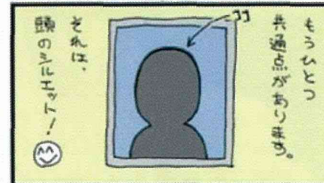
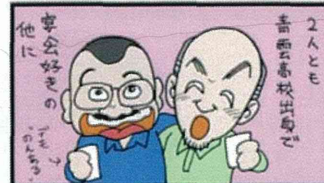
あじさいネット OFF LINE 通信も 1 周年を迎えることができました。当初、年 4 回の発行は難しいのではという声もありましたが、なんとか予定通り発行することができました。その間、取材にご協力していただいた先生方、職員の方々、そして 4 コマ漫画を書いて下さった詫摩和彦先生、また日頃よりご支援いただいておりますメーカー様方にも深く深く感謝いたします。今後もあじさいネットの価値をより多くの方々にお伝えすべく、また、会員の皆様方の声をたくさん掲載していきたいと考えておりますので、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。  
\* ご感想は、あじさいネット事務局「[aj-na@nagasaki.med.or.jp](mailto:aj-na@nagasaki.med.or.jp)」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

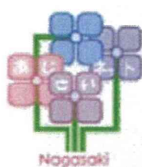
広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。  
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 [aj-na@nagasaki.med.or.jp](mailto:aj-na@nagasaki.med.or.jp)  
最新の情報は、HP をご覧ください。 <http://www.ajisai-net.org/>

## あじさいな人々

たくま がびりこ



大角先生、橋本先生は、今回、中面記事にてご紹介しています。詫摩先生いつも楽しい作品ありがとうございます。



# あじさいネット OFF LINE 通信

## vol. 6



2011 難所ヶ滝 (福岡県宇美町)

写真提供：米満 伸久 先生 (佐世保中央病院)

### 目次

#### 会員様の声

高原内科循環器科医院	高原 晶 先生	2
中村内科クリニック	中村 憲章 先生	3
ライン薬局	水崎 直文 先生	4

#### 情報提供病院のご紹介

聖フランシスコ病院 地域連携科	5
長崎記念病院 地域連携室	6

あじさいネット キーパーソンに聞く (株)NTT データ 石黒 満久 氏	7
---	---

あじさいニュース・同意書の取り扱い手順・表紙撮影☆談話	8
-----------------------------	---

#### 現在の運用状況

(平成 25 年 3 月 15 日現在)

患者登録数	26,185 名
(全件あじさいネット説明同意書取得済み)	
会員数	285 名
情報閲覧施設数	176 施設
(内、薬局数 25)	
情報提供病院数	17 施設

#### 賛助会員

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス(株)
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ ライフサポート事業本部

#### 基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会





患者さんには「異常なし」より「上等！」と声をかけて



**DOCTOR'S PROFILE**  
 S54年 関西医科大学卒業  
 H77年 父業継承で開業  
 H16年 設立当初に入会  
 ■長崎県医師会副会長  
 ■あじさいネット設立時、理事

あじさいネットの思い出

あじさいネット設立当初に、情報発信先の病院と大ゲンカしました。ちょうどその当時、基幹病院との手紙、紹介状の受け渡しが大変なことがあって「ITネットワークの前に、人と人との当たり前の関係が必要なんじゃないのか！」と異議を唱えたことを思い出します。  
 その後、協議と飲み会の積み重ねによって、徐々にお互い仲良くなっていきました。

循環器科でのあじさいネット利用

心臓の場合は分単位、秒単位が勝負になりますので、近隣の循環器の先生方には「心筋梗塞、狭心症の搬送は、休日であっても夜中であっても、申し訳ないけど絶対遠慮しないで送ります」と伝えています。基幹病院への緊急搬送後、心臓カテーテルといった処置の最中に状況が尋ねることはできませんので、時間的余裕がある時は、紹介状を書く際に一緒に、ご本人もしくはご家族からあじさい

諫早市小船越町 高原内科循環器科医院 高原 晶 先生

TEL : 0957-22-1740

ネットの同意書も書いて頂いています。そして基幹病院での処置後、しばらく落ち着いた頃に閲覧し確認しています。ただ動画が対応していないのが残念です。早く動画に対応してほしいですね。

入院されている患者さんの容態が危ない時は、あじさいネットに毎日つないで見守っています。

また、基幹病院で検査をされた患者さんが、当院に来院された際に、検査結果をすぐ閲覧できるのは便利です。

あじさいネットは、単純に数値とかのデータはすごいと思います。ただ、ドクターの考え方が見えてこないのが残念です。「この治療法を選択した理由」とか「こういう形で説明した」とか「私はこう思っている」といった言葉が意外と少ない。あじさいネットで参照されるから、逆に書けなくなったのかもしれないですね。看護記録を読んだ方が、まだよく分かる時があります。

テレビ会議に期待しています

今年度導入される、あじさいネットのインフラを利用したテレビ会議システムに期待しています。

会議の際、遠方から出席される先生方の日程調整が一番大変です。会議の時間帯は空いているのに、会議場に向かうまでの時間が長いという先生方に、テレビ会議の拠点となる近隣の医師会館等で、会議に参加してもらえますからね。

訪問看護の現場でもあじさいネットを

現在、訪問看護ステーションはテスト運用中ですよ。今後は、訪問看護の現場での活用を軌道に乗せていく事に期待しています。

私も含め開業医の中には、昼休みは訪問診療を行い、夜は緊急に在宅末期患者の処置に赴くドクターが多いです。今後は、訪問看護の現場で、あじさいネットを上手く使い、患者さんへのより迅速な対応と、医療従事者の負担を減らすことにつなげていけたらと考えます。今でもメールで写真などを送ったりはしていますが、将来的には診療所と訪問看護ステーションをつないで、ステーションから診療所の電子カルテを参照したり、現場でPDAを用い撮影した画像を、電子カルテ上で参照できるといった形が実践できたらと思います。

当院は電子カルテに音声入力力があります。「上等！」と言うとカルテに「異常なし」と入力されます。患者さんの顔を診ながら入力出来る事、患者さんに私が書いている事が分かる点が良いですね。



●●高原先生の万相談所の日々●●

父業継承するまで、光請会病院に勤務し心臓カテーテル検査もしていました。今でも一緒に救急車に乗っていくことがよくあります。当院の前の坂道で救急車に乗り込み、救急車の中で心マッサージを施すこともあります。ダメかな？と思った方が、基幹病院から歩いて帰る事ができて良かったなと思うこともあります。また、首段の診療の中で、心臓病の患者さんは特に心配性なので「自分が心臓の病気だから死ぬんじゃないか」と不安に言われるのを「いや、大丈夫ですよ」と言う役目も多いです。そういう意味では、私たち循環器の医者は、心療内科的なアプローチも必要と思われます。

当医院では、「切れ目のないインターネット環境」の構築を実践しています。



・ DOCTOR'S PROFILE ・

S44年 長崎大学医学部卒  
H5年 中村内科クリニック開業  
H22年よりあじさいネット会員

長崎市竹の久保町

中村内科クリニック

なかむら

のりあき

中村 憲章 先生

TEL : 095-864-1234

入会のきっかけ

長崎在宅ドクターネットワークのメーリングリストには様々な情報が流れています。そうした中で「あじさいネット」が便利だと知り、その後、講演会で聴く機会もありましたので、平成二十二年に入会しました。

在宅医療移行の患者さんは、中核病院に入院した経験がある方が多いので、「あじさいネット」は、在宅移行前の情報収集にも使っています。

「切れ目のないインターネット環境」の構築へ実践の日々

当医院のインターネット環境は、受付にORCA(主)、診察室にORCA(副)を、院長室にWindowsXP(主)とWindowsXP(副)を置き、LANで接続しています。

「あじさいネット」は院長室のWindowsXP(副)で利用しています。ここでは、患者

情報の収集、レセプト請求や特定健診の請求もオンラインで行っています。

LANとWANの切り替え器を使い、あじさいネットを利用しています。

受付のORCA(主)の臨床会計情報(CLAIM)の初診時IDを、あじさいネット上にも同一のIDとして設定しています。

すると、あじさいネットのアクセスには、当医院の患者IDを使用することができ、複数の中核病院にかかっている患者さん情報が、同じ画面に表示されることになり非常に便利です。

診察室のORCA(副)は主にWindowsXPを利用して、院内画像(エコー画像やDICOMデータ)、医師会検査データを表示して患者説明に利用するとともに、空き時間にはメールや検査データ入力に利用しています。

今後「あじさいネット」に期待すること

ID-LinkとHuman Bridgeを紐付して、一つの画面に表示されるように検討して頂きたい。例えば井上病院(Human Bridge)と長崎大病院(ID-Link)にデータがある患者さんの場合、両システムにアクセスして、二つの画面を開かないといけない。現在のカレンダー表示のようにクリックしていき、同一画面で見れるようになると、非常に便利ですね。

最近、半年に一回、定期検査で中核病院を受診する患者さんが増えてきています。同意書の閲覧期限は半年間ですので、ちょうど間

覧期限がきれるときがあります。その際は、再度、同意書をとりますが、現状を踏まえると、閲覧期限は一年間が適切だと思っています。

平成二十四年四月より「城山クラブ在支診連携医会」を構築して、強化型在宅医療を開始しました。将来的に、同じ番号でチーム全員がアクセスできるようにしたいですね。

中核病院に紹介する際、当医院で撮影した画像をCDにイれて送ると、あじさいネットのカレンダー表示の中に当医院のデータがはいります。現在、取り込みをしていない病院もありますが、こういったデータを、なるだけ早急に取り込んでもらえるとうれしいです。

六十の手習い  
「コンピュータも医学と一緒くたに解りから」

コンピュータは、したことも見たこともなく、六十の手習いで始めました。

長崎市情報処理委員会の元委員長の高藤泰孝先生にご教示願ったところ「コンピュータは医学と一緒に基礎からせんと。解剖からせんばいかん。」と言われてました。そこで、コンピュータを買ってきて、全部分解しました。コンピュータの中を開けると、ベルトみたいなのがいくつかついてますからね。それがどうなっているか、どこにつながつて、どんな作用があるかを一つ一つ外して、番号と印をつけて分解して、ここここがつながつとるといふ具合に組立直しました。そこから始めましたね。すると、二年くらいで大体覚ええました。最初の頃は、組立て直した後、画面が映らなくなることもあって、コンピュータのサービス業者の方には、大変お世話になりましたね(笑)

副作用の説明は、「あじさいネット」の検査値や治療内容で確認



・水崎 直文 先生 PROFILE・  
H 4年 福岡大学 薬学部卒  
H20年 開局  
H23年よりあじさいネット会員

入会のきっかけ

薬剤師になる前は、製薬会社勤務で患者さんではなく医師、薬剤師に薬を説明するのが仕事でした。商品Aは血圧がこれくらいの患者さんに、商品Bはコレステロール値が高い患者さんに、商品Cは血中濃度を測定して投与量を決めてください・・・と。

調剤薬局の薬剤師になりそういう知識を持ちながらの勤務でしたが、患者さんが持参する処方箋と聞きとりだけでは不十分で薬のメリットも十分説明ができません、ずっと思っていました。

また、中核病院に掛かっておられる患者さんが持つて来られる喘息吸入薬のみの処方。会話の中で、喘息のぜの字もできません。「今日の点滴もきつかった。薬の副作用なんだろうね？」と。大よその推測はできるのですが、訴えられる点滴の副作用に関しては、あいつちを打つのがやっとなです。

長崎市花園町 ライン薬局 水崎 直文 先生

TEL : 095-801-7758

「あじさいネット」が処方箋一枚で判断できなかったことをカバ!

さらに高齢の患者さんの中には親しくなる病院での検査や診断情報、さらには家族や最近の出来事等、薬剤師の私が全て知っているのかのように話をされる患者さんがおられます。そのような時、せめて受診された検査や診断情報だけでも共有したいと思いました。こういった日常業務での出来事が、あじさいネットに入会しようと思ったきっかけです。

一二十年程前、私が製薬会社に入社したころは、製薬会社のMRさんは、薬のメリットを主に説明するような時代でした。しかし、最近では徐々にデメリットも副作用に重きをおいて「こういう副作用が出ますから」と説明するように変わってきていると思います。実際、今は逆の立場でMRさんから薬の説明を聞きますが、副作用をしっかりと説明されていかれます。この薬は肝機能障害や腎機能障害のチェックが必要な薬です・・・と。しかし、私は薬剤師は処方箋一枚ではそういった副作用がでているかどうかは判断ができません。それには検査値が必要不可欠になります。

あじさいネットを利用すると、検査値を確認できますので、患者さんの状態をきちんと把握した上での服薬指導ができます。患者さんの中には、明日あるいは明後日、副作用がでるのではないかと大変不安を感じておられる方もいらっしゃると思いますので、そのような患者さんの検査値や治療内容は、自らの目で確認して問題がなければ「副作用もでていないから続けて大丈夫ですよ。」と安心して伝えることができます。

また、副作用で薬が変更された時も、病院で受けた4説明を、薬局の窓口で繰り返し話すことで、患者さんに安心してもらえることもあります。そうすることで患者さんと信頼関係ができ、さらに深い話もできます。あじさいネット利用は、こういったメリットも生まれれます。

これから変えていきたいこと

どうしても薬局は薬だけ出してくれればいいという患者さん、病院で説明を聞いているから、詳しい説明はいいですよ、という患者さんがおられます。また、あじさいネットでは薬剤師会員の閲覧できる情報に制限がかけられている施設もあります。これらは私ら薬剤師のレベルが起因しているところが大きいと思っています。

患者さんからは「薬のことは薬剤師さんに」と思われるように、そして医師や他の医療関係者からは「薬剤師にもこのような情報を知ってもらわない」と言われて頂けるよう、日々レベルを上げて変えていかなければと思っています。

●●水崎先生に伺いました●●

座右の銘  
「一生懸命」  
今、目の前の事に一生懸命取り組みます。  
Q. その時々を一生懸命という事ですか?  
A. そうです。だから、インタビュー受けている今はインタビューに一生懸命です。  
先生にとっての薬局の在り方を教えてください。  
一般的に街の薬局は【健康相談の窓口！】と言われていますが、そうありたいと思います。薬局の入口は少しオープンにして、ほとんど窓口に座っています。自然に中の様子が見えるのもあり、近所の親しい患者さんは、薬局の前の道を通りながら薬局の中を見て「あつ、おるな！」と言って立ち寄ってくれます。処方箋があるわけでも薬を扱うわけでもなく、何もかも尋ねられる方もおられます。「こども110番」じゃないですが、そういう風に自然と立ち寄れる、そんな薬局でありたいです。

## 情報提供病院のご紹介

宗教法人 聖フランシスコ病院会

## 聖フランシスコ病院 地域連携科

聖フランシスコ病院は、平成22年5月に情報提供をスタートしました。  
キリスト教の愛の精神に基づき、地域の皆さまに信頼される質の高い医療を目指します。



### DOCTOR'S PROFILE

S43年 長崎大学医学部卒  
専門：外科  
H19年より現職

### ◆◆ Message / 大曲 武征 病院長 ◆◆

あじさいネットでは、よりスピーディーでレベルの高い診断を  
長崎市北部地区の医療に大きな貢献  
ができる、燃えるような熱い期待を  
もってあじさいネットに入会しました。  
当院は、電子カルテではないため、  
入会当初の利用数は多くありませんで  
したが、現在は徐々に増えてきている  
状況です。  
あじさいネットを通してMRIやCT  
の検査データを多く提供しています。  
当院は、MRI、CT、レントゲン、  
エコー等の高度医療機器と、放射線科  
医師の画像診断により、スピーディーで  
レベルの高い診断ができます。  
今後、あじさいネットが広く普及し  
ていくにつれて、病院の透明性を  
更に高めると共に、開業医の先生方の  
診療の質向上にもつなげることができ  
ると考えています。

情報交換会で、より円滑な地域連携を  
現在、電子カルテの導入を計画しています。  
また、地域連携を深める一環として、毎年、  
開業医の先生方との情報交換会を開催してい  
ます。  
電子カルテ導入で、カルテ記事の閲覧や内  
視鏡画像の閲覧が可能になり、診療内容がよ  
り分かりやすくなります。開業医の先生方に  
更に信頼される情報提供病院として育ってい  
けると思います。  
情報交換会では、当院にいつも患者さまを  
紹介していただいている近隣の開業医の先生  
方と親交を深めています。当院の状況をお話  
しすると共に、参加された先生方からは、貴  
重なご希望やご意見をお聞きしています。こ  
ういった機会に、あじさいネットを利用して  
いただけるようお願いしています。  
あじさいネットに期待すること  
当院は二次救急病院です。当院でできない  
診療が必要な場合は、大学病院に紹介してい  
ます。今後、あじさいネットが病院連携によ  
り利用できる、大学病院での患者さまのカル  
テ情報を閲覧できるようになり、あじさい  
ネットの活用がさらに広がっていくと思  
います。  
また、あじさいネット利用により、検査の重  
複が減り、患者さまの立場にたった診療が可  
能になっていくことに期待しています。

●地域連携科より  
《診療所の先生方へ》  
当院の土曜日の登録受付は午前中までとな  
っています。時間外に依頼を受けた場合は、翌診  
療日の登録になるため、大変申し訳なく思っ  
ています。  
一人の患者さまに対して、複数の病院へ同時  
に登録依頼をフックスされた場合、依頼を受  
けた病院は、ほぼ同時に登録作業を行うため、  
登録できないケースがあります。御面倒ですが、  
一病院毎に、フックスを流していただけると  
助かります。  
紹介で受診を予定されている方で、当院に受  
診歴がない方やホスピス予約の方の場合は、次  
の受診やホスピス入院決定の時まで、あじさい  
ネットの登録をお待ちいただく事になっていま  
す。できるだけ、受診日の近くで登録の依頼フ  
ックスをしていただけると大変助かります。



聖堂にて  
前列左から磯科長、山崎副院長、大曲病院長、竹口事務長  
後列左から地域連携科 麻生、中道主任、橋本、松永

急性期疾患の診療を中心に、その方らしさを大切に考え  
ながら、ホスピスでの緩和医療にも力を注いでいます。  
また、宗教的ケア・心のケアを専任担当者や司教の協力  
によって実践しています。聖堂では年に2回、追悼ミサも  
行っています。

## 情報提供病院のご紹介

社会医療法人

## 長崎記念病院 地域連携室

長崎記念病院は、平成 22 年 9 月に情報提供をスタートしました。

「地域のために、よりよい医療を、心をこめて」を理念に掲げています。

### ◆◆ Message / 今村 由紀夫 病院長 ◆◆

いまむら ゆきお

長崎市の「南の砦」として、  
初期治療から二次救急までを  
支えています。



#### DOCTOR'S PROFILE

S50 年 長崎大学医学部卒  
専門：一般内科呼吸器  
H22 年より現職

当院は、長崎市南西部に位置しています。立地条件上、近隣にはクリニックも多くはなく、過疎化も進んでいる地域もあります。そのため救急車の搬送率も高く、遠方よりかかりつけ医院として来られる方も多いため、初期治療から二次救急までの役割を果たしているといえます。

紹介の窓口は地域連携室ですが、緊急な場合などは、各科の部長にクリニックの先生方から直接連絡があります。私は、内科呼吸器専門ですが、内科部長時代から院長になった今でも、直接電話がかかってくる。そういった意味では、一人の患者さんを地域の医療機関で診る連携体制は緊密です。

当院の近隣で、あじさいネットに入会されているクリニックが少ないので残念に思っています。地域の先生方にもっと積極的に参加していただきたいです。

#### あじさいネットでは病病連携に期待

当院の性格上、長崎大学病院や市民病院、長崎原爆病院に紹介した患者さんが、当院に帰って来られて、フォローするケースが多くあります。そういった際の病病連携での情報閲覧利用に期待しています。

先日、病病連携の会議がありました。情報漏洩時の罰則規定等の話はでませんでした。問題発生時の責任の所在も不明瞭ですから、今後はそういった事を全員で考えていく必要があります。

また、セキュリティの担保も大切です。セキュリティのレベルを上げ、極端に制限した運用になりますと、日常的には使いづらいシステムになります。逆にハードルを下げますと、使いやすいくけど、その分だけセキュリティは低くなります。情報セキュリティの担保については、そのバランスのとおり方が非常に難しいので、慎重に進める必要があると思います。

#### あじさいネットの啓蒙活動

医師だけでなく薬剤師へもアプローチ、  
昨年の秋、当院で講師として、詫摩和彦先生、橋本清先生をお招きし、第六十三回あじさいネット運用講習会を開催いたしました。その際、薬局薬剤師の先生方を集めてあじさいネット説明会を行いました。当院は昨年十一月より院外処方になりましたが、近隣の薬剤師の先生方には、当院で患者さんが受けた化学療法の内容や、内服薬といった情報をきちんと知った上で服薬指導していただきたいという思いから開催しました。

#### ●地域連携室より

《障害発生時の対応》  
まずシステム管理室に連絡後、SECに電話連絡します。最近、登録作業に慣れて不具合が起これなくなりましたが、以前はよく伊藤さんにお世話になりました。

《ベンダーの方へ》

最近、登録医がソフトですぐでできる機能が追加されてきました。改善していただきありがとうございます。ただ、突然、画面が変わっていることがあるので、大きな変更の場合は、変更内容をMLで流して頂ければ助かります。または、ポータルサイトに掲示板を作っていたら、その掲示板でメッセージを見ることができたら一番分かりやすいと思います。

《その他》

当院は電子カルテが導入されておらず、「照会」と「紹介」の判断に時間がかかります。できれば、同意書に紹介と照会の記載欄を設けて〇印を付けるようにしてもらえると便利です。



前列左から早瀬室長、今村病院長、麻生医師(医療情報部顧問)、後列左から神近(医療情報部 医療情報技師/薬剤師)、地域連携室スタッフの方々

当院は、今年で九十周年を迎えました。医師不足、看護婦不足の中で地域医療を支えています。勤務医の年齢が上がっておりますので、若い先生方にどんどん長崎に帰って来てほしいですね。医療分野だけではなく、他の産業も念めてそう思います。

## 「あじさいネット」キーパーソンに聞く

いしくろ みつりさ

### (株)NTTデータ 石黒 満久 氏

#### 『あじさいの奇跡』を社会基盤へ育てていく役割

あじさいネットは、医療情報システムに強いNEC・富士通と、ネットワークに強いNTTデータが組んだキレイなバランスがとれたネットワークだと思っています。

#### システムの仕組み

情報閲覧施設に設置されたオンデマンドVPNは、インターネットは通じますが、そこから先は安全な暗号化という技術で、医療情報を守っています。

通常、インターネットにつながると世界中の色んな人から閲覧される可能性があります。オンデマンドVPNはそれをガードしている形です。

車道に例えると、誰でも一般車道は走れますが、高速道路は専用ゲートを通ら



いしくろ みつりさ

### (株)NTTデータ 石黒 満久 氏

#### 『あじさいの奇跡』を社会基盤へ育てていく役割

ないと走れませんし、普通に一般車道を走る車は高速道路にはいる事はできません。それと同じようなイメージで、「インターネット上に、安全な高速道路網をネットワークという形で準備します」というのが、当社の役割です。

もちろん、厚生労働省のインターネットを利用した医療情報の取り扱いのガイドラインに準拠している事は大前提です。

#### あじさいネットとの出会い

五年前にあじさいネット運営委員会で、病院と診療所の立場を超えて、先生方が集まって、『皆で同じレベルを作ろう、安全な高速道路を作ろう』と、一生懸命議論されている姿を目の当たりにしました。

全国の多くの地域では、補助金や実証事業を活用した地域医療連携ネットワークがたくさんあります。ところが、あじさいネットは、どの程度先生方の利益になるかわからない医療の社会基盤を、補助金なしで作ろうとしている、おまけに自分で四千万の会費を払って、使っていないというのですから、それってよっぽどの思いがないとできないじゃないですか。その思いに感動した事が、あじさいネットをお手伝いさせてもらいたいと思った原点です。

この経緯を、私は『あじさいの奇跡』と呼んでいます。

#### システム構築に苦勞した点

当初は仕掛け作りに奔走しました。何故NTTデータがあじさいネットをやるのかを社内、社外も含め示していく事に一番苦勞しました。あじさいネット会費の額も低コストに押さえなくてはならない、運用には人もきちんと配置する必要がある、そういった仕掛け作りながら、ネットワークを稼働させていくことが大変でした。

#### 社会基盤として確立するためには

会員を増やす必要があります。県民の医療を支える地域医療ネットワークを目指すのであれば、少なくとも半数、できれば六割、七割の先生方が、あじさいネットに加入する状況を作らないといけないと正直、思っています。

現在、読影支援、遠隔カンファレンス、テレビ会議といったサービスを構築されている最中ですので、今後、利用用途がどんどん広がっていくと思います。

あじさいネットが、社会基盤として確立していくために、果も含めた全体の仕掛けの一つとして機能していくようになるでしょうから、NPOから脱皮する時期がくるだろうと思っています。

例えば、マイナンバー制度を利用した形で運用していくためには、NPOの形で運営するのではなく、国、県といった公共的な位置づけの運営母体が回り始めないと、社会基盤とはいえないと思います。NPOはその先駆けとして、黎明期を走ってきた評価はされるべきだと思います。

#### 石黒さんにQ&A

##### 趣味

アウトドアです。キャンプは年に4回、5回行きます。バーベキューは2か月に1回くらい楽しんでいます。

Q. 最近はどこにキャンプに行かれましたか？

A. 富士山の麓に家族で訪れました。

他の趣味は、魚釣り、子供らとプールで泳ぐこと。

小説などの本を読むこと。

Q. サスペンダーが、いつもおしゃべりですね。

A. 大体、十人中十人に「お腹にあうベルトがないからだろう」と言われるけど、本人はファッションだと思っています。20代後半から20年くらい使っていて、ほとんどベルトはしたことはないです。サスペンダー大好きですね。今まで20本くらい使い古しました。

家族の写真を楽しそうに紹介する石黒さん



あじさいネットの見学、視察は七十を超えているそうです。これは、あじさいネットがそれだけ価値を持っているからです。

現在、あじさいネットモデルを他県でも展開して回っています。例えば、島根県の「まめネット」や、あじさいネットに見学にも来られていた岡山県の「晴れやかネット」がそうです。『あじさいの奇跡』を他県に広げてこそ、あじさいネットに価値があるといえると思っています。

「これからは、地域完結型の医療が進められていくと思いますが、その時には、あじさいネットのような地域連携ネットワークが必要ですね。地域医療連携の大事さを、一番ベシクにシンプルに表現しているのが、あじさいネットです。そういう意味で社会を変えていく、変わっていくのに合わせて、地域医療が充実していくのはすごく価値があると思っています。私は、今後も、あじさいネットの良さも悪さも合わせて根幹を支えていきたいですし、改善すべき所は積極的に協力していきたいと考えています。

## あじさいニュース



写真前列右から、小尾重厚会長、山下裕久 旭川医師会長、牟田幹久先生  
後列右から、伊藤武芳 旭川医師会事務局長、田崎賢一先生、木村博典先生、柴田真吾先生

### 〈ご訪問記〉

山下裕久 旭川医師会長と伊藤武芳 事務局長が  
あじさいネット運営委員会をご見学されました。

昨年9月15日に、旭川医師会市民フォーラム「医療IT連携は皆で立ち上げ、皆が育てる 旭川・道北医療連携」にあじさいネットから松本・木村・牟田・小尾4人で行ってまいりました。その折に、「運営委員会でいろんな話を、喧々譁々議論をするんですよ。この議論の中から発展的な方向性が見えるようになっていきます。うちの運営委員会を見に来られませんか？」と話していましたら、本当にお見え頂きました。「大いに参考になりました。」とコメントを頂きました。立派なIT連携ネットが出来る事を期待しています。

記) 小尾重厚 会長

### 【あじさいネット同意書の取り扱い手順】

- 患者さまに同意書の説明をします。
- 同意書に患者さまとかかりつけ医療機関が、必要事項を記入します。  
\*同意撤回届の〈かかりつけ医療機関記載欄〉にも必要事項を必ずご記入下さい。  
(かかりつけ医療機関：かかりつけ医、かかりつけ薬局)
- 取得した同意書を2部コピーします。  
⇒ 1部は患者さま保管用  
⇒ 1部はかかりつけ医療機関保管用
- 取得した同意書を、閲覧を希望する情報提供病院にファックスします。
- 15分以内に、情報提供病院からかかりつけ医療機関へ登録手続き完了のファックスが届きます。  
この時点で利用可能となります。
- 取得した同意書の原本は、情報提供病院に郵送します。  
(各情報提供病院の住所、電話、ファックス番号は同意書様式の3枚目に掲載されています。)

患者さんにお渡しする書類は3枚です。

- ① 参加同意説明書 ②同意書のコピー ③同意撤回届

\*情報提供病院ごとに同意書は必要です。A病院とB病院の2医療機関をご希望の場合は、それぞれの病院用に作成して下さい。(2部必要です)

皆様へお願い

同意書の〈患者さま記載欄〉の他の医療機関での同意書作成歴「なし・あり」にチェックをお願いします。もし既に他医療機関で登録済みの場合、二重登録になり、不具合が生じますのでよろしくをお願いします。

### 表紙撮影☆談話

福岡県宇美町の難所ヶ滝に、毎年1月に登っています。2011年がこの5年間で最高の凍結でした。あじさいネットは、この灘のように凍結することなく上昇中です。

県北でも、情報提供病院が佐世保市立総合病院、佐世保共済病院、佐世保中央病院に加え、長崎労災病院も加わりました。薬局の参加も始まり、いよいよ本格始動です。

記) 佐世保中央病院 米満伸久 先生 (佐世保市医師会理事)

愛犬ムータと一緒に登る時もあります。



賛助会員 あじさいネットは、会員様をはじめ、様々な方々のご協力により、運営されています。



## HOGY®

**一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。**

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



Empowered by Innovation **NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

**NECの地域医療連携ネットワークサービス**

まずはWebで、詳細情報を。 [www.nec.co.jp](http://www.nec.co.jp)

お問い合わせは、NEC医療ソリューション事業部へ。  
〒108-8001 東京都港区芝芝丁7-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3796)8756

<http://www.nec.co.jp/>

人と地球にやさしい情報社会へ

## Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤としてヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災に被災された皆様に対し謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心より祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査 (生化学的検査・血液学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 手術管理サービス
- 医療関連サービス
- 検体採取関連事業 (検体採取用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入)
- 医薬品・化学品の毒性試験、薬物薬理試験
- 試験動物による薬効・毒性評価
- 遺伝子診断の解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境リスク評価サービス
- 食品の安全サポーター
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦4丁目2番8号  
TEL.03(6722)4000(代表)



## あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会  
入会申込書を事務局宛に送っていただきます。  
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。  
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000 円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000 円** を承ります。
2. 利用料金  
月々 **4,000 円** (レセプトオンライン請求も希望の場合は 5,000 円) と年 **3,000 円** のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。
3. 機器の設置  
機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。  
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。
4. 運用講習会  
利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。
5. 同意書と登録  
患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。
6. あじさいネットポータルサイトへのログイン  
アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

\*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。

### 入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当: 三浦、苑田  
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

## 編集後記

これから長崎労災病院(佐世保)、諫早総合病院(諫早)、虹ヶ丘病院(長崎)、そして五島中央病院(五島)が情報提供病院として運用が始まります。これで情報提供病院は 21 となります。全国的には地域医療再生基金を使ったあじさいネット同様の IT 地域連携の取り組みが広がっており、あじさいネットよりも多くの情報提供病院数で運用を計画している地域もありますが、実運用しているネットワークでは、現在あじさいネットが全国最大規模と思われます。今後も他の地域に負けないよう安全で地域医療の質向上に有益な連携ツールとして発展していくよう、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

\*ご感想は、あじさいネット事務局「[aj-na@nagasaki.med.or.jp](mailto:aj-na@nagasaki.med.or.jp)」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。  
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 [aj-na@nagasaki.med.or.jp](mailto:aj-na@nagasaki.med.or.jp)  
最新の情報は、HP をご覧ください。 <http://www.ajisai-net.org/>



## Ⅱ. 分担研究報告

第2章 医療情報連携に求められる安全性と県境を超えるための  
必要条件に関する研究

—医療情報連携システム事例の検討とその比較—

廣瀬 弥幸

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）  
分担研究報告書

医療情報連携に求められる安全性と県境を超えるための必要条件に関する研究  
—医療情報連携システム事例の検討とその比較—

分担研究者 廣瀬弥幸  
(長崎大学病院 医療情報部 助教)

研究要旨：

政府は平成 22 年 6 月、「どこでも MY 病院」と「シームレスな地域連携」構想を示し平成 27 年までの実現を明記した。しかし平成 13 年の 59 億円を投入した経済産業省による電子カルテ共有システム事業では、多くの取り組みが中断・頓座しており、1 医療圏での地域 IT 連携の運用ですら容易ではないことが明らかとなった。その一方で NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（通称あじさいネット）はセキュアで継続可能なシステムを構築し、平成 16 年より運用している。平成 25 年 3 月 15 日現在、26,185 名の患者情報が連携され、診療情報提供病院数：17、診療情報閲覧施設数：176 となり、長崎県全域で有効な医療情報連携システムとして定着している。

今後は「あじさいネット」のような、ある医療圏内で確立された医療情報連携システムが地理的境界を超えて拡大していくこと、あるいは医療情報連携システム同士が連携することによって「どこでも MY 病院」「シームレスな地域連携」の実現が可能となるものと考えられる。医療圏を越えた連携の方法として「あじさいネット」が採用している基盤は、Private Cloud 型の中継サーバ（北海道、群馬県）を経由した各病院との VPN(virtual Private Network)接続であるため、理論的には全国との接続が可能である。

本研究では、県境を超えた医療情報連携の現状を調査し「あじさいネット」および「あじさいネット」以外の医療情報連携システムについて概観し、「県境を超えた連携を進めるための課題」と、医療 IT 連携の前提となる「セキュリティ」について検討を行った。その結果、医療情報連携システムについて県境を超えた医療情報連携は、現時点ではほとんど行われていなかった。今後県境を超えた連携を安全に進めていく上では、それぞれの医療情報連携本来の目的や情報共有の範囲、情報セキュリティポリシー等が異なるため、すり合わせを行う必要がある。また、他医療情報連携ネットワークとの連携をするための技術的課題や、継続的にコスト負担をしていく方法の検討が必要である。一方、行政や福祉、介護、医師会などとの積極的な連携や、協議会などによる合意形成は成功のために重要であると考えられた。